

学校再開後の学校運営上の留意点（緑川モデル）

宇土市立緑川小学校

☆常時

- ・毎朝の検温を家庭にお願いし、ていねいな健康観察を行う。
- ・こまめな手洗いを徹底する。
- ・マスクを着用する。（運動中等は除く）
- ・2方向の窓を開け、換気を行う。
- ・ソーシャルディスタンスを理解し、三密（密閉、密集、密接）が重なることは避ける。
- ・可能な限り共用物の消毒を行う。

●登下校

- ・安全第一とするが、できるだけ密接を避ける。
- ・一斉下校の際は、できるだけ距離をとって静かに集合し、速やかに下校する。

●朝の活動

- ・朝のランニングは、自分のペースに合わせて走り、併走やおしゃべりをしない。
- ・朝のボランティアは、ソーシャルディスタンスを保って行う。
- ・読み聞かせは実施せず、朝読書とする。

●業間活動

- ・集会活動は、一斉で行う場合、放送で行う。（発表集会含む。）
- ・音楽集会は、実施しない。
- ・なかよしタイムは実施せず、学級裁量の時間とする。

●授業

- ・児童同士は、1. 2メートル以上の距離を確保する。
- ・職員は、授業中、適宜フェイスシールドを着用する。
- ・発達段階に応じて、新型コロナウイルスに関する学習を行う。
- ・理科において、可能な限り教室で実施し、近距離で話し合うことや実験器具等の貸し借りを避ける。
- ・音楽科において、歌唱指導等を行う場合は、対面を避け、児童同士2メートル以上の距離を確保する。
- ・家庭科において、調理実習は行わない。
- ・体育科において、密集する運動や近距離で組み合ったり、直接接触したりする場面が多い運動はしない。物のやり取りがある運動の際は、手袋を着用する。
- ・学校図書館の利用については、貸出時間等を学年毎にずらす。

●休み時間

- ・職員は、必要と判断される際、フェイスシールドを着用する。

●給食

- ・机を向かい合わせにはしない。
- ・できるだけおしゃべりをなくし、大きな声での会話はしない。
- ・給食は、廊下を一方通行にし、時間をずらして受け取りに行く。
- ・給食台は、消毒後キッチンタオルで拭き上げる等、台ふきを使用しない。

●歯磨き

- ・歯ブラシ、コップは、自分のロッカーに保管する。
- ・流しの使用は3カ所以内とし、3人以下で行う。
- ・少ない水で口をすすぎ、蛇口より低い位置から水を吐き出す。
- ・フッ化物洗口は、実施を見合わせる。

◎運動会、学習発表会、修学旅行、宿泊教室、見学旅行等の行事については、その都度、関係機関と協議の上、実施等を決定する。

※本モデルは、新型コロナウイルス感染状況等に応じて変更していくこととし、その際は全職員で変更点の確認を行う。